

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 10 月 28 日

【評価実施概要】

事業所番号	3870104555
法人名	有限会社 ユニット・ワン
事業所名	グループホーム ユニットまつやま
所在地	松山市井門町790番地1 (電話) 089-958-0311
管理者	町田 千香子
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15
訪問調査日	平成 20 年 9 月 25 日
評価確定日	平成 20 年 10 月 31 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 8 月 29 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 1 月 10 日
ユニット数	2 ユニット
利用定員数計	18 人
職員数	17 人
常勤	11 人
非常勤	6 人
常勤換算	14.6 人

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	35, 000 円		その他の経費 (月額)	11, 000 円	
敷 金	有 () 円 ○ 無				
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 () 円 ○ 無		有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食	円	昼食	円	
	夕食	円	おやつ	円	
	または1日当たり		1, 400 円		

(3) 利用者の概要 (平成 20 年 8 月 29 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	4 名	要介護2	3 名		
要介護3	5 名	要介護4	1 名		
要介護5	3 名	要支援2	名		
年齢	平均 85 歳	最低 55 歳	最高 96 歳		

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	あり	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

田園地帯の一面の広い敷地に建つ平屋のホームは、中央に玄関、左右が各ユニットの居室となっている。共用空間も広く、高い天井に天窓を設け、柔らかな自然光を採り入れており明るい。利用者はウッドデッキから中庭を眺めたり、自由に出入りしてくつろいでいる。介護計画は毎月のミーティングやカンファレンスで職員が話し合い、現状に即した計画を作成している。毎年、運動会、祭り、餅つき等の行事を法人内で行い、利用者の楽しみを支援している。利用者のハーモニカや職員のピアノ演奏で利用者の潜在力を引き出しながらのケアに努めている。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目：外部4)

前回評価の結果を活かし、地域住民との交流の促進、運営推進会議の参加メンバーの増員、利用者の外出支援などの改善に取り組んでいる。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目：外部4)

管理者が評価の意義をミーティング等で職員に伝え、自己評価は一部の職員で取り組んで管理者がまとめ上げている。次回からは職員全員で取り組むことを期待したい。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目：外部4, 5, 6)

市担当者、地域代表、利用者、家族等をメンバーとして2か月毎に開催している。参加者からの意見や要望を活かして、家族の暮らしぶりを記録した経過日誌の提示、玄関や窓の施錠に関するホームからの文書回答、会議開催の工夫など、サービスの向上、運営に活かしている。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目：外部7, 8)

重要事項説明書に苦情申立て先を明記し、玄関には意見箱を設置している。家族の来訪時や運営推進会議で意見を出してもらい、それらを運営に反映している。

▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目：外部3)

町内会に入会しており、回覧板等で地域の情報を得て、清掃活動や祭りなどの地域活動に積極的に参加している。また、フラダンスや舞踊のボランティアの受け入れや、小学生の体験学習の受け入れを行うなど、地域との交流、連携を図っている。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目
(評価項目の構成)

Ⅰ.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

Ⅲ.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

Ⅳ.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

Ⅴ.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

ユニットまつやま

(ユニット名)

A棟

記入者(管理者)

氏 名

町田 千香子

評価完了日

平成 20 年 8 月 29 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 設立時より独自の理念に一部地域との関わりを持つ理念を事務所に掲げている。 (外部評価) 開設2年後に、開設当初に作成した理念をホーム長会で見直し、地域密着型サービスの役割を盛り込んだ理念を作成している。理念は事務所に掲示している。	※	家族や来訪者にもホームのサービスのあり方を示すためにも、来訪者の目に付きやすい玄関にも理念を掲示することを期待したい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念が実践できるよう努めている。 (外部評価) 毎月末開催のミーティングで日々のケアについて協議する中で理念と関連付け、実践に取り組んでいる。毎年、具体的目標を新たに決めている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 地域の中で暮らしていることが、家族、近隣の人に理解され始めている。		運営推進会議に町内会長さん、民生委員さんの参加があり、お話をする機会を多く持つようにしたい。

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 回覧板を回していただく。 隣の畑の水仙を利用者が摘みに行く。 通勤中の挨拶、水やり時、散歩中の方への声掛けを行い、以前より話す機会が増えた。		回覧板やチラシを利用しホームの行事を知らせ立ち寄ってもらえる機会を増やしたい。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の清掃活動への参加、秋の地方祭でのみこし入り等で、交流に努めている。 (外部評価) 町内会に入会し、回覧板等を通して地域の情報を得ている。清掃や朝顔市、祭りの神輿乗り入れなどに参加し、また小学生の体験学習の受け入れや、フラダンス、舞踊等のボランティアの訪問など、地域との交流に努めている。また、運営法人の行事である餅つきでついた餅を近所に振る舞い、交流を深めている。		インターネットによる情報公開をするようになった。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) デイケアを通じて地域の高齢者との触れ合いを深めたいと取り組み始めた。時には職員が介護保険の説明も行っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価を生かし取り組もうとしているが、まだまだ十分できてない。 (外部評価) 管理者が評価の意義を説明し、自己評価には一部の職員が取り組み、管理者がまとめている。評価結果を活かし、地域や近隣住民との交流、運営推進会議への参加呼びかけ、外出支援など改善に取り組んでいるが、改善状況の記録は残していない。	※	改善の長期及び短期の目標を計画的に実施するために、改善計画表を作成することが望ましい。

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 会議を開く日を事前に決定する。案内状を出す等、意見を入れた事でスムーズに運べるようになった。会議の結果は玄関横に貼り出し、家族、利用者さんへのサービス向上を計っている		
			(外部評価) 市担当者、地域代表、利用者、家族等をメンバーとして、2か月毎に開催している。議事録は議題や質疑応答内容を分かりやすく記録している。会議で出された意見や要望から、会議開催の工夫、利用者の日々の状況を記録した個人別経過日誌の提示、施設に関する家族への説明など、サービスの向上に活かしている。	※	警察、消防署、その他地域の各分野の代表者など、多様なメンバーとなるよう、参加を呼びかけていくことを期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 市及び社協、包括センターでの研修、連絡会に出席し、担当者と話す機会が増えている。		
			(外部評価) 市担当職員とは面識があり、市担当課が実施指導のため年1回ホームを訪問している。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 現在保佐人のついている利用者があり、連携を取り合っている。		成年後見制度を理解できている職員は一部であり、全員理解できるようにしたい。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 言葉、身体への虐待がないか、職員間で注意しあっている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 家族等からの質問に対し、説明して理解していただけるよう努めている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見、不満、苦情等は受入れ、職員間でミーティングを行い、移動、方法等を考慮し、利用者へ説明している。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 面会時、電話、手紙で報告している。		
			(外部評価) 毎月、金銭出納にかかる請求書と領収書を送付し、介護計画と行事等の写真は家族の来訪時に直接渡している。訪問できない家族には6か月毎に手紙を添えて送付している。ホーム便りは作成していない。	※	暮らしぶりを知らせることができそうなホーム便りの作成について検討することを期待する。訪問の少ない家族への報告についても、請求書と合わせて毎月行うことが望まれる。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱の設置や、地域推進委員会での家族の意見等は、職員間でのミーティングや経営者への報告を行って、その結果、公表する等で反映させている。		
			(外部評価) 重要事項説明書に苦情申立て先を明記し、また玄関に意見箱を置いて対応している。来訪時には声をかけ、運営推進会議でも家族の要望や意見を出してもらい、それらを運営に反映させている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月1回ミーティングを行い、意見交換している。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 受信時の付き添い、		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 同列のグループホームへの異動や離職は、残りの職員が利用者のフォローに努めている。 (外部評価) 法人内の異動はあるが、離職は殆どない。異動の際は利用者にも説明し、期間内にスムーズな交代を行えるよう配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 認知症実践者研修への参加、希望研修の参加は促している。 (外部評価) 県グループホーム連絡協議会に所属し、研修内容を申し送りノートで情報提供し、希望者に受講を奨めており、出張扱いで研修に参加できるようにしている。受講後は報告書を作成し、ミーティングでも話している。受講は希望者のみとなっており、職員全員の受講機会が確保できているとは言えない。	※	今後は新人研修に力をそそぎたい。 希望者だけでなく、段階に応じて計画的に全員が受講できる機会を確保することを期待する。

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 研修及び連絡会で交流を深めたりグループホーム間の総合評価、同列でのグループホームでの交流は行っている。 (外部評価) 毎年グループホーム相互評価事業に参加し、相互訪問・交流を図っている。また、法人内の3施設とイベントを通して交流を行っている。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 個々に話を聞き、ストレスの軽減を図る。 有休休暇を使用する。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 職場に入りスタッフの意見を聞きながら、働きやすい環境になるよう改善している。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 担当者を決め聴く機会を作っている。担当者で受け止められないときは上司に相談し、信頼関係を深める努力をしている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居前から関わり相談に乗っている。時には家族の悩みまで聴く事もある。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談を受けた時、さまざまなサービス、利用方法を提供している。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 徐々に馴染めるように、スタッフと家族が相談しながら対応している。 (外部評価) 家族と相談しながら、本人が安心して利用できるよう配慮してサービスを開始している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) コミュニケーションを取りながら、昔の事や知ってる事を教えてもらい、喜怒哀楽を共にしようと努めている (外部評価) 日々一緒に過ごしながら、利用者から労いの言葉をかけてもらっている。また、植木の剪定の仕方や団子の作り方を教わるなど、共に支え合う関係を築いている。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 常に家族と話をする時間を取って、一緒に支える関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家庭での確執を取り除き、よりよい関係を築けるよう努めている。また、面会の機会を増やしていただいている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 馴染みの人との面会はできるようにしている。 場所への支援はできていない。		今後、会話を通じて出てきた場所へのドライブなどを取り入れたいと考えている。
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) レクリエーション、行事、体操を通じ関わりを持つように努めている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 郵便物等の連絡、入院による退去者に対してお見舞いに行く。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 常日頃顔色、表情に注意し、話しかけて希望等の把握に努めている。 (外部評価) 声かけをしたり、アセスメントを基に表情や体調を見ながら思いや意向の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 事前調査、入居してから聞いた話をファイルに入れて、把握に努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 24時間の事を経過記録に書き、把握するように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 介護計画に今回、家族の思いという項目を作った。理解力のある方は本人と話し合い、スタッフ間でカンファレンスを行いプランを作成している。 (外部評価) アセスメントを基にミーティングで話し合い、基本プランを毎月のカンファレンスで見直して、利用者、家族、職員の意見やアイディアを反映した個別の介護計画を作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 1ヶ月に1回評価、3ヶ月に1回カンファレンスを行い、対応できない変化が生じた場合は、新たなケアプランを作成している。 (外部評価) 毎月のカンファレンスで、変化に応じて、また3か月毎に見直し、家族の来訪時又は送付して確認してもらい、現状に即した新たな計画を作成している。	※	見直した新たな介護計画について、利用者・家族の意見や希望を聞き、同意を得た確認を得ることが望まれる。

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の経過記録にケアプランを印刷し○をつける実践。受診後の変更等も記入する事で情報を共有している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 事業所で鍼灸治療、居宅介護支援事業所を立ち上げ、要望に応じている。必要時、受診時の付き添いもしている。 (外部評価) 本人や家族の要望に応じて、買い物、病院や告別式への同行、鍼灸師によるマッサージをホーム内で希望者に施すなど、柔軟な支援に努めている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) ボランティアの受入れ、町内会長等から催し物の紹介があり、それに参加する等の支援を行っている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) グループホーム間でケアマネジャー会を催したり、研修を通して他の事業所のケアマネジャーと話し合いを待っている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 他の介護施設、入院施設の情報及び受入れに関する情報交換を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 継続した医療が受けられる様、家族に協力を要請し、支援している。 (外部評価) 本人及び家族の希望を大切にし、かかりつけ医の受診を支援し、その結果を連絡ノートに記録し、個別の経過記録にファイルして適切な医療を受けられるよう支援している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 受診、FAXによる相談等で治療や助言受けられるように支援している。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) NS三人で健康管理、医療機関への受診連絡を取っている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入退院時のサマリーの交換、見舞いや、電話による情報交換を頻回に行い、連絡しあっている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 家族に看取り指針を説明し、医師と家族、家族とスタッフ、医師とスタッフで状態に応じて話合っている。 (外部評価) 看取りの指針を作成しており、重度化や終末期の方針を入居時の早い段階で家族と話し合い、同意書をもらって全員で方針を共有している。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 体調の変化を早期に発見し、医療機関およびかかりつけ医と連絡をとりあっている。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 情報の提供はしているが、十分とは言えない。		情報の交換を十分に行い、ダメージ防止に努めたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 記録の保護、個人情報の公開の有無確認、一人一人にあった言葉かけ・対応に努めている。		
			(外部評価) 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねないように声かけや対応に気を付けており、ミーティングでも職員同士で注意し合っている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 理解力に応じ説明したり支援行っている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 体操、レクリエーションなどで声掛けするが、居室で過ごしたい時は希望にそいくつらいでもらうよう一人一人のペースも大切にしている。 (外部評価) 起床時間や朝食、昼食時間など一人ひとりのペースを大切に、できるだけ希望に添った支援をしている。入浴についても本人の意向に柔軟に対応している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 希望者には望む店に行けるよう手配する。 職員で定期的カット、ひげ剃りしている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 一人一人マイ箸、マイ茶碗、湯飲みを使用。月2回〇〇の日は時には希望の食事を作るようにしている。準備、片づけは職員が行っている。 (外部評価) 調理の下ごしらえや下膳を職員と一緒にしている。毎月1日と15日をバイキングと誕生会としており、利用者の好みを取り入れ、食事を楽しみめるよう工夫している。職員は各自弁当を持参し、利用者の食事が終わってから食べている。	※	食事介助の関係で一緒に食事がとれない場合もあるが、利用者が家庭的な雰囲気の中で安心して食事できるよう、一緒にテーブルを囲み、同じ食事を摂ることを期待する。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 朝はオーダードリンク、お酒は提供していない。おやつは日々変更し「おいしい」と言っていたけりよう気をつけている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 定期的に声掛けしトイレ誘導、失禁時はパット交換する。必要時は夜間ポータブルトイレで排泄できるよう支援している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 週2回は入浴のきまりを作っているが、体調や希望により入浴回数を増やしたり時間もうずらして入浴を楽しめるようにしている。 (外部評価) 毎週2日入浴を基本に、職員体制の関係で難しい夜間以外は希望や体調に合わせて入浴、清拭の支援をしている。入浴に拒否的な利用者には家族に協力してもらったり、職員の声かけを工夫するなどして対応している。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 室温や布団の調整、服薬やオムツ交換時により気持ちよく眠れるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 体操指導、花の水やり、洗濯物たたみ等できる人は役割をもってして頂いている。 歌やピアノ、ハーモニカ演奏、散歩で気晴らししている。 (外部評価) 毎年、法人内3施設合同の運動会、祭り、餅つきなどを交代で実施し、市の祭りにも参加している。また、ホーム内では、ひな祭り、花見、クリスマス等の行事や、利用者のハーモニカと職員のピアノ演奏に合わせて歌を歌ったり、犬の餌やり、掃除、食事の後片付けなど、楽しみごとや気晴らしの支援をしている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 自己管理できる方は買い物時の使用、お金の所持されている。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 日常的に外出する事は職員の人数状況で無理だが家族の協力買い物時一緒に外出できるよう心がけている。裏庭へは常時出入りできるようにしている。 (外部評価) 利用者の希望に添って、買い物やドライブに出かけたり、近隣を散歩している。車いすの利用者は家族にも協力してもらっている。広い中庭へ自由に出ることができ、戸外の風や空気に触れる機会を持てるよう配慮している。		なじみの場所へのドライブ等取り入れたいと考えている。
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 家族の協力で出かけられる方もいる。		外出の時に時間があれば行ってみたい場所へのドライブ。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 支援している。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 面会室を作りいつでも気軽に訪問し居心地よく過ごせるようにしている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束はしていない。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関は安全の為施錠し、職員が一緒の時は開放、中庭へは自由に入出し心理的不安を与えないようにしている。 (外部評価) 過去に利用者の外出で警察に協力してもらったことがあり、現在は安全のため玄関の施錠と居室の窓の開放制限を行っている。家族には文書で説明して理解してもらっている。	※	玄関の解錠について話し合いをもっているも改善策がみつからない。 利用者の安全を施錠で守るだけではなく、職員が連携して見守ったり、地域住民の協力を得るなどして、鍵をかけないケアについて職員間で検討を続けながら取り組んでいくことが望まれる。
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 見守りし安全に配慮している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 取り組みしている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) カンファレンスし事故防止に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 定期訓練はしていないが緊急時の連絡方法は掲示している。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 水害状況が市から連絡入るようになった。 (外部評価) 消防署の指導を受け、年2回の訓練を実施している。緊急連絡網と消火器設置の見取り図を作成しているが、マニュアルは作成していない。災害対策について、運営推進会議の議題に挙げて協力をお願いするところまでは至っていない。	※	避難マニュアルを作成し、自主的な訓練も繰り返し行って災害に備えることが望まれる。また、さらに地域住民の協力を得られるような取組みを期待したい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 家族とは常に話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 1日2回バイタルチェック、体調変化時は主治医連絡、指示受けしている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の管理はNSで行い、職員は症状変化時、主治医・NSへ相談し対応している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) リハビリ体操を行っている。飲み物、指示薬使用にて便秘に対応している。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 一人一人に応じて支援している。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 外部に食材献立を依頼し栄養バランスはとれている。水分補給も行っている。 (外部評価) 献立は業者が作成しているものを利用しており、1日の必要カロリーを確保している。1日と15日をバイキングと誕生会としており、利用者の好みを取り入れている。食事・水分摂取量を記録し、一人ひとりの適切な栄養摂取や水分確保を支援している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 予防、対応の取り決めしている。食器煮沸、乾燥。手摺り、ドアノブ、床は常時ジア消毒している。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 調理器具は煮沸、乾燥し、食材は外部から配達してもらい、衛生管理に努めている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) クリスマスにはイルミネーション飾りをしている。玄関周辺に花を植えている。玄関、庭も広く車や車椅子での出入りもできるようにしている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 天窓のついたリビング等共用空間を広くとっている。毎月手作りのカレンダー掲示物で季節の花を飾っている。 (外部評価) 敷地もホーム全体も広々として、くつろげる共用空間となっている。天井が高く、天窓から自然光を採り入れている。広い中庭にはウッドデッキがあり、自由にベンチでゆったりくつろいだり、外の景色を眺めたりできる。不快な音や匂いもなく、居心地よく過ごせるよう工夫している。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビングにソファを置き、玄関に椅子を置き、畳の空間もある等、過ごしやすくしている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 使い慣れた物は居室に置いている。 (外部評価) 本人の好みや家族の協力で、テレビ、仏壇、縫いぐるみや家族の写真などを持ち込み、居心地よく過ごせるように工夫している。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 換気は毎日、温度調節も状況に応じて行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 洋式トイレ、手摺り設置、歩行器、車椅子でも動けるよう空間がとってある。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) トイレや名札を表示して間違わないようにしている。		
87		○建物の外周や空間の活用 建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 建物の周りは田畑や花壇があり、季節を楽しみ収穫出来る事もある。デッキを含め中庭が広く散歩出来るようにしている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ① ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいの ③ 利用者の1/3くらいの ④ ほとんど掴んでいない	利用者の思いや願いを受け止めようと努力している。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない	日々の日課に追われるがカラオケ、風船バレー等を通し一緒に過ごせるようにしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	無理強いしない。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	レクリエーション、外出時に生き生きした表情が見られる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	家族の方と出られるか職員と一緒に買い物に出かけている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	1日2回のバイタルチェック、受診、往診、主治医との連携はとれている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	状況や要望に応じた対応を心がけている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく (自己評価) ① ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと ③ 家族の1/3くらいと ④ ほとんどできていない	面会時や電話にて話を聞いている。時には家族のプライベートな事まで相談を受ける事もある。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない	利用者の馴染みの人の来訪も近隣の人の訪問も前回に比べ多くなってきた。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	回覧板、地区の行事への参加等で少しずつ理解されてきたと感じている。
98	職員は、生き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日々の仕事、人間関係でストレスもある。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	不満を訴える人がいないためそう思われる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	利用者の状況を密に話しする事で前回より満足度は上がったと思われる。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

ユニットまつやま

(ユニット名)

B棟

記入者(管理者)

氏 名

日野 洋子

評価完了日

平成 20 年 8 月 29 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 設立時より独自の理念に一部地域との関わりを持つ理念を事務所に掲げている。 (外部評価) 開設2年後に、開設当初に作成した理念をホーム長会で見直し、地域密着型サービスの役割を盛り込んだ理念を作成している。理念は事務所に掲示している。	※	家族や来訪者にもホームのサービスのあり方を示すためにも、来訪者の目に付きやすい玄関にも理念を掲示することを期待したい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念が実践できるよう努めている。 (外部評価) 毎月末開催のミーティングで日々のケアについて協議する中で理念と関連付け、実践に取り組んでいる。毎年、具体的目標を新たに決めている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 地域の中で暮らしていることが、家族、近隣の人に理解され始めている。		運営推進会議に町内会長さん、民生委員さんの参加があり、お話をする機会を多く持つようにしたい。

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 回覧板を回していただく。 隣の畑の水仙を利用者が摘みに行く。 通勤中の挨拶、水やり時、散歩中の方への声掛けを行い、以前より話す機会が増えた。		回覧板やチラシを利用しホームの行事を知らせ立ち寄ってもらえる機会を増やしたい。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の清掃活動への参加、秋の地方祭でのみこし入り等で、交流に努めている。 (外部評価) 町内会に入会し、回覧板等を通して地域の情報を得ている。清掃や朝顔市、祭りの神輿乗り入れなどに参加し、また小学生の体験学習の受け入れや、フラダンス、舞踊等のボランティアの訪問など、地域との交流に努めている。また、運営法人の行事である餅つきでついた餅を近所に振る舞い、交流を深めている。		インターネットによる情報公開をするようになった。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) デイケアを通じて地域の高齢者との触れ合いを深めたいと取り組み始めた。時には職員が介護保険の説明も行っている。		
3. 理念を实践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価を生かし取り組もうとしているが、まだまだ十分できてない。 (外部評価) 管理者が評価の意義を説明し、自己評価には一部の職員が取り組み、管理者がまとめている。評価結果を活かし、地域や近隣住民との交流、運営推進会議への参加呼びかけ、外出支援など改善に取り組んでいるが、改善状況の記録は残していない。	※	改善の長期及び短期の目標を計画的に実施するために、改善計画表を作成することが望ましい。

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 会議を開く日を事前に決定する。案内状を出す等、意見を入れた事でスムーズに運べるようになった。会議の結果は玄関横に貼り出し、家族、利用者さんへのサービス向上を計っている (外部評価) 市担当者、地域代表、利用者、家族等をメンバーとして、2か月毎に開催している。議事録は議題や質疑応答内容を分かりやすく記録している。会議で出された意見や要望から、会議開催の工夫、利用者の日々の状況を記録した個人別経過日誌の提示、施設に関する家族への説明など、サービスの向上に活かしている。	※	警察、消防署、その他地域の各分野の代表者など、多様なメンバーとなるよう、参加を呼びかけていくことを期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 市及び社協、包括センターでの研修、連絡会に出席し、担当者と話す機会が増えている。 (外部評価) 市担当職員とは面識があり、市担当課が実施指導のため年1回ホームを訪問している。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 成年後見制度の研修に職員を参加させている。現に保佐人がいる利用者もいて連携をとっている。		成年後見制度を理解できている職員は一部であり、全員理解できるようにしたい。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 高齢虐待防止の研修に参加させたり、職員間で虐待を見過ごさないように努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 家族等からの質問に対し、説明して理解していただけるよう努めている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見、不満、苦情等は受入れ、職員間でミーティングを行い、移動、方法等を考慮し、利用者へ説明している。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 面会時、電話、手紙で報告している。 (外部評価) 毎月、金銭出納にかかる請求書と領収書を送付し、介護計画と行事等の写真は家族の来訪時に直接渡している。訪問できない家族には6か月毎に手紙を添えて送付している。ホーム便りは作成していない。	※	暮らしぶりを知らせることができるようなホーム便りの作成について検討することを期待する。訪問の少ない家族への報告についても、請求書と合わせて毎月行うことが望まれる。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱の設置や、地域推進委員会での家族の意見等は、職員間でのミーティングや経営者への報告を行って、その結果、公表する等で反映させている。 (外部評価) 重要事項説明書に苦情申立て先を明記し、また玄関に意見箱を置いて対応している。来訪時には声をかけ、運営推進会議でも家族の要望や意見を出してもらい、それらを運営に反映させている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月1回ミーティングを行い、意見交換している。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 受信時の付き添い、		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 同列のグループホームへの異動や離職は、残りの職員が利用者のフォローに努めている。 (外部評価) 法人内の異動はあるが、離職は殆どない。異動の際は利用者にも説明し、期間内にスムーズな交代を行えるよう配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 認知症実践者研修への参加、希望研修の参加は促している。 (外部評価) 県グループホーム連絡協議会に所属し、研修内容を申し送りノートで情報提供し、希望者に受講を奨めており、出張扱いで研修に参加できるようにしている。受講後は報告書を作成し、ミーティングでも話している。受講は希望者のみとなっており、職員全員の受講機会が確保できているとは言えない。	※	今後は新人研修に力をそそぎたい。 希望者だけでなく、段階に応じて計画的に全員が受講できる機会を確保することを期待する。

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 研修及び連絡会で交流を深めたりグループホーム間の総合評価、同列でのグループホームでの交流は行っている。 (外部評価) 毎年グループホーム相互評価事業に参加し、相互訪問・交流を図っている。また、法人内の3施設とイベントを通して交流を行っている。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 個々に話を聞き、ストレスの軽減を図る。 有休休暇を使用する。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 職場に入りスタッフの意見を聞きながら、働きやすい環境になるよう改善している。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 担当者を決め聴く機会を作っている。担当者で受け止められない時は上司に相談し、信頼関係を深める努力をしている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居前から関わり相談に乗っている。時には家族の悩みまで聴く時もある。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談を受けた時、さまざまなサービス、利用方法を提供している。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 徐々に馴染めるように、スタッフと家族が相談しながら対応している。 (外部評価) 家族と相談しながら、本人が安心して利用できるよう配慮してサービスを開始している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) コミュニケーションを取りながら、昔の事や知ってる事を教えてもらい、喜怒哀楽を共にしようと努めている (外部評価) 日々一緒に過ごしながら、利用者から労いの言葉をかけてもらっている。また、植木の剪定の仕方や団子の作り方を教わるなど、共に支え合う関係を築いている。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 常に家族と話をする時間を取って、一緒に支える関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家庭での確執を取り除き、よりよい関係を築けるよう努めている。また、面会の機会を増やしていただいている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 馴染みの人との面会はできるようにしている。 場所への支援はできていない。		今後、会話を通じて出てきた場所へのドライブなどを取り入れたいと考えている。
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) レクリエーション、行事、体操を通じ関わりを持つように努めている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 郵便物等の連絡、入院による退去者に対してお見舞いに行く。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 常日頃顔色、表情に注意し、話しかけて希望等の把握に努めている。 (外部評価) 声かけをしたり、アセスメントを基に表情や体調を見ながら思いや意向の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 事前調査、入居してから聞いた話をファイルに入れて、把握に努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 24時間の事を経過記録に書き、把握するように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 介護計画に今回、家族の思いという項目を作った。理解力のある方は本人と話し合い、スタッフ間でカンファレンスを行いプランを作成している。 (外部評価) アセスメントを基にミーティングで話し合い、基本プランを毎月のカンファレンスで見直して、利用者、家族、職員の意見やアイディアを反映した個別の介護計画を作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 1ヶ月に1回評価、3ヶ月に1回カンファレンスを行い、対応できない変化が生じた場合は、新たなケアプランを作成している。 (外部評価) 毎月のカンファレンスで、変化に応じて、また3か月毎に見直し、家族の来訪時又は送付して確認してもらい、現状に即した新たな計画を作成している。	※	見直した新たな介護計画について、利用者・家族の意見や希望を聞き、同意を得た確認を得ることが望まれる。

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の経過記録にケアプランを印刷し○をつける実践。受診後の変更等も記入する事で情報を共有している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 事業所で鍼灸治療、居宅介護支援事業所を立ち上げ、要望に応じている。必要時、受診時の付き添いもしている。 (外部評価) 本人や家族の要望に応じて、買い物、病院や告別式への同行、鍼灸師によるマッサージをホーム内で希望者に施すなど、柔軟な支援に努めている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) ボランティアの受入れ、町内会長等から催し物の紹介があり、それに参加する等の支援を行っている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) グループホーム間でケアマネジャー会を催したり、研修を通して他の事業所のケアマネジャーと話し合いを待っている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 他の介護施設、入院施設の情報及び受入れに関する情報交換を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 継続した医療が受けられる様、家族に協力を要請し、支援している。 (外部評価) 本人及び家族の希望を大切にし、かかりつけ医の受診を支援し、その結果を連絡ノートに記録し、個別の経過記録にファイルして適切な医療を受けられるよう支援している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 受診、FAXによる相談等で治療や助言受けられるように支援している。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) NS三人で健康管理、医療機関への受診連絡を取っている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入退院時のサマリーの交換、見舞いや、電話による情報交換を頻回に行い、連絡しあっている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 家族に看取り指針を説明し、医師と家族、家族とスタッフ、医師とスタッフで状態に応じて話合っている。 (外部評価) 看取りの指針を作成しており、重度化や終末期の方針を入居時の早い段階で家族と話し合い、同意書をもらって全員で方針を共有している。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 体調の変化を早期に発見し、医療機関およびかかりつけ医と連絡をとりあっている。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 情報の提供はしているが、十分とは言えない。		情報の交換を十分に行い、ダメージ防止に努めたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 記録の保護、個人情報の公開の有無確認、一人一人にあった言葉かけ・対応に努めている。		
			(外部評価) 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねないように声かけや対応に気を付けており、ミーティングでも職員同士で注意し合っている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 理解力に応じ説明したり支援行っている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 体操、レクリエーションなどで声掛けするが、居室で過ごしたい時は希望にそいくつらいでもらうよう一人一人のペースも大切にしている。 (外部評価) 起床時間や朝食、昼食時間など一人ひとりのペースを大切に、できるだけ希望に添った支援をしている。入浴についても本人の意向に柔軟に対応している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 希望者には望む店に行けるよう手配する。 職員で定期的にカット、ひげ剃りしている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 一人一人マイ箸、マイ茶碗、湯飲みを使用。月2回〇〇の日は時には希望の食事を作るようにしている。準備、片づけは職員が行っている。 (外部評価) 調理の下ごしらえや下膳を職員と一緒にしている。毎月1日と15日をバイキングと誕生会としており、利用者の好みを取り入れ、食事を楽しみめるよう工夫している。職員は各自弁当を持参し、利用者の食事が終わってから食べている。	※	食事介助の関係で一緒に食事がとれない場合もあるが、利用者が家庭的な雰囲気の中で安心して食事できるよう、一緒にテーブルを囲み、同じ食事を摂ることを期待する。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 朝はオーダードリンク、お酒は提供していない。おやつは日々変更し「おいしい」と言っていただけよう気をつけている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) オムツは夜間のみの使用とし日中はパンツ対応、トイレ誘導を行っている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 利用者の体調を見て、入浴を楽しめる様支援している。 (外部評価) 毎週2日入浴を基本に、職員体制の関係で難しい夜間以外は希望や体調に合わせて入浴、清拭の支援をしている。入浴に拒否的な利用者には家族に協力してもらったり、職員の声かけを工夫するなどして対応している。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 室温や布団の調整、服薬やオムツ交換時により気持ちよく眠れるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) できそうな事は声掛けし、共に行う場面をもつよう努めている。 (外部評価) 毎年、法人内3施設合同の運動会、祭り、餅つきなどを交代で実施し、市の祭りにも参加している。また、ホーム内では、ひな祭り、花見、クリスマス等の行事や、利用者のハーモニカと職員のピアノ演奏に合わせて歌を歌ったり、犬の餌やり、掃除、食事の後片付けなど、楽しみごとや気晴らしの支援をしている。		個々への支援を増やしていきたい。

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 自己管理できる方がいない為家族へ相談している。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 日常的に外出する事は職員の人数状況で無理だが家族の協力買い物時一緒に外出できるよう心がけている。裏庭へは常時出入りできるようにしている。 (外部評価) 利用者の希望に添って、買い物やドライブに出かけたり、近隣を散歩している。車いすの利用者は家族にも協力してもらっている。広い中庭へ自由に出ることができ、戸外の風や空気に触れる機会を持てるよう配慮している。		なじみの場所へのドライブ等取り入れたいと考えている。
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 家族の協力で出かけられる方もいる。		外出の時に時間があれば行ってみたい場所へのドライブ。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 支援している。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 面会室を作りいつでも気軽に訪問し居心地よく過ごせるようにしている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関は安全の為施錠し、職員が一緒の時は開放、中庭へは自由に入出入りし心理的不安を与えないようにしている。		玄関の解錠について話し合いをもっているも改善策がみつからない。
			(外部評価) 過去に利用者の外出で警察に協力してもらったことがあり、現在は安全のため玄関の施錠と居室の窓の開放制限を行っている。家族には文書で説明して理解してもらっている。	※	利用者の安全を施錠で守るだけではなく、職員が連携して見守ったり、地域住民の協力を得るなどして、鍵をかけないケアについて職員間で検討を続けながら取り組んでいくことが望まれる。
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 見守りし安全に配慮している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 取り組みしている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) カンファレンスし事故防止に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 定期訓練はしていないが緊急時の連絡方法は掲示している。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 運営推進会議において協力をお願いしたが、避難訓練の実施まではできていない。 (外部評価) 消防署の指導を受け、年2回の訓練を実施している。緊急連絡網と消火器設置の見取り図を作成しているが、マニュアルは作成していない。災害対策について、運営推進会議の議題に挙げて協力をお願いするところまでは至っていない。	※	避難マニュアルを作成し、自主的な訓練も繰り返し行って災害に備えることが望まれる。また、さらに地域住民の協力を得られるような取組みを期待したい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 家族とは常に話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 1日2回バイタルチェック、体調変化時は主治医連絡、指示受けしている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の管理はNSで行い、職員は症状変化時、主治医・NSへ相談し対応している。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) リハビリ体操を行っている。飲み物、指示薬使用にて便秘に対応している。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 一人一人に応じて支援している。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 外部に食材献立を依頼し栄養バランスはとれている。水分補給も行っている。 (外部評価) 献立は業者が作成しているものを利用しており、1日の必要カロリーを確保している。1日と15日をバイキングと誕生会としており、利用者の好みを取り入れている。食事・水分摂取量を記録し、一人ひとりの適切な栄養摂取や水分確保を支援している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 予防、対応の取り決めしている。食器煮沸、乾燥。手摺り、ドアノブ、床は常時ジヤ消毒している。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 調理器具は煮沸、乾燥し、食材は外部から配達してもらい、衛生管理に努めている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) クリスマスにはイルミネーション飾りをしている。玄関周辺に花を植えている。玄関、庭も広く車や車椅子での出入りもできるようにしている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 天窓のついたリビング等共用空間を広くとっている。毎月手作りのカレンダー掲示物で季節の花を飾っている。 (外部評価) 敷地もホーム全体も広々として、くつろげる共用空間となっている。天井が高く、天窓から自然光を採り入れている。広い中庭にはウッドデッキがあり、自由にベンチでゆったりくつろいだり、外の景色を眺めたりできる。不快な音や匂いもなく、居心地よく過ごせるよう工夫している。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビングにソファを置き、玄関に椅子を置き、畳の空間もある等、過ごしやすくしている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 使い慣れた物は居室に置いている。 (外部評価) 本人の好みや家族の協力で、テレビ、仏壇、縫いぐるみや家族の写真などを持ち込み、居心地よく過ごせるように工夫している。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 換気は毎日、温度調節も状況に応じて行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 洋式トイレ、手摺り設置、歩行器、車椅子でも動けるよう空間がとってある。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) トイレや名札を表示して間違わないようにしている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 建物の周りは田畑や花壇があり、季節を楽しみ収穫出来る事もある。デッキを含め中庭が広く散歩出来るようにしている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	できるだけ利用者の思い願いを分り、支援する事をケアの根本においている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	日々の日課に追われるがカラオケ、風船バレー等を通し一緒に過ごせるようにしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	無理強いしない。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	レクリエーション、外出時に生き生きした表情が見られる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	家族の方と出られるか職員と一緒に買い物に出かけている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	1日2回のバイタルチェック、受診、往診、主治医との連携はとれている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	状況や要望に応じた対応を心がけている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく (自己評価) ① ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時や電話にて話を聞いている。時には家族のプライベートな事まで相談を受ける事もある。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	利用者の馴染みの人の来訪も近隣の人の訪問も前回に比べ多くなってきた。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	回覧板、地区の行事への参加等で少しずつ理解されてきたと感じている。
98	職員は、活き活きと働いている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日々の仕事、人間関係でストレスもある。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	不満を訴える人がいないためそう思われる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	できるだけ家族と話し合う場面を持つように努力している。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)